

平成28年度		事務事業評価表 A (平成27年度 の実績評価)						記入年月日 平成 28 年 3 月 23 日		
事務事業名		地籍調査事業				事業区分		担当		
政 策 体 系	総合計画の施策名	O101 計画的・効率的な自治体運営の推進				新規/継続	継続	事務事業No.	010109000353	
	政策名	O1	市民と行政による豊かな地域の自治づくり				単独/補助	単独	所属課	060101
	施策名	O1	計画的・効率的な自治体運営の推進				主要事業	対象外	建設課	
	基本事業名	O9	その他の事務事業				市長マニフェスト	対象外	未来PJ事業	グループ
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	单年度繰返し	(年度~)	
	01	06	01	08	01	00	地籍調査事業	➡	期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠	国土調査法									
(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)										
(1) 事務事業の概要										
手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)					②担当者が行う業務の内容・やり方・手順				
	【事務事業の内容】 国土調査事業を完了した場所(桜川市内)における地図の誤りや地積の誤りなどが見つかった場合に、地籍調査時の関係資料及び現地を調査し、誤りと確認されれば地積更正を行う。					①関係地権者よりの調査依頼相談、状況確認など。 ②国土調査時の調査素図と現地(現況)での確認。 ③誤りと確認すれば測量調査のため業務委託契約し、調査土地への立ち入り。 ④関係地権者、周辺隣接者との境界立会いの確認。 ⑤関係地権者、周辺隣接者との同意後、測量調査の結果が報告されれば地図訂正や地積更正の登記を行う。(申請先 水戸地方法務局筑西出張所)				
(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、目標値の推移										
①手段(担当者の活動内容)			④活動指標(活動量を表す指標)		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
国土調査事業を完了した場所(桜川市内)における地図の誤りや地籍の誤りなどが見つかった場合に、地籍調査時の関係資料及び現地を調査し、誤りと確認されれば地積更正を行う。			申請件数		件	7.00	6.00	6.00	6.00	6.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象(誰、何を対象にしているのか)			⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
桜川市内における国土調査(地籍調査)を実施した土地(所有者及び相続人)			桜川市全域		k㎡	180.06	180.06	180.06	180.06	180.06
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図(この事業によって対象をどう変えるのか)			⑥成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
現地と公図等が相違する土地について地図訂正を行い、それに伴い登記簿地積の訂正も行い、固定資産税の課税に反映される。			地図訂正・地積更正件数		件	7.00	6.00	6.00	6.00	6.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(3) 投入量(事業費)の推移			26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定 総投入量		
投 入 量	事業費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	1,086	1,868	2,991	2,991	2,991	2,991	
	事業費計(A)	千円	1,086	1,868	2,991	2,991	2,991	2,991		
	人 件 費	正規職員従事人数	人	2,00人	2,00人	2,00人	2,00人	2,00人		
事業費 の 内 訳	述べ業務時間	時間	45.00	43.00	45.00	45.00	45.00			
	人件費計(B)	千円	131	125	131	131	131			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,217	1,993	3,122	3,122	3,122			
	27年度事業費 実績(千円)					28年度事業費 予算(千円)				
	13 委託料	1,858			13 委託料	2,981				
19 負担金補助及び交付金	10			19 負担金補助及び交付金	10					
合 計					1,868			合 計	2,991	
(4) 当該年度の実施内容		28年度の事業内容			29年度の事業内容			30年度の事業内容		
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する										
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 										

事務事業名	地籍調査事業	事務事業No.	10109000353	所属課	建設課
【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）					
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
昭和26年国土調査法制定以来、国土の開発及び保全並びにその利用高度化に資するとともに、地籍の明確化を図るために、国土の実態を科学的にかつ総合的に調査することを目的にしている。 現在は、桜川市内の地籍調査が終了しているため、誤りが見つかった箇所の地図訂正・地積更正の要望が寄せられている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
現況と公図を比較し座標値や地積が違った場合の地図訂正・地積更正の要望が寄せられている。 特に、2011年3月11日の東日本大震災後により住宅に大きな被害を受けた方が、家の建て替えなどをするために敷地の境界確認を行ったところ、地図や地積の誤りが多く見つかるようになった。					
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的な内容					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

評価項目		
目的妥当性	①政策体系との整合性 （この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	土地の権利関係、及び道路や水路など、市が所有する土地と個人所有地との境界が明確になる。
	②公共関与の妥当性 （なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	国土調査法に定められた事業であり、個人情報も多く含まれるため、市が行う事業である。
	③成果の向上余地 （成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	
<input type="checkbox"/> 向上余地がない	現在は、調査結果のデータ管理をしており、地籍の誤りが見つかったときに地図訂正・地積更正を行い、また、地籍調査成果等交付申請によりデータの交付（有料）事務を行っている。	
有効性	④廃止・休止の成果への影響 （事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	
	<input type="checkbox"/> 影響有	国土調査法の規定に定められた事業なので、廃止・休止はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 （類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む））	
(他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/>	具体的な手段、事務事業名	
<input type="checkbox"/> 余地がない	国土調査法の規定により定められた事業であるため統廃合・連携はできない。	
効率性	⑥事業費・人件費の削除余地 （成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費は、国土調査法の規定に定められた事業なのでできない。人件費は、地図訂正・地積更正及び地籍調査成果等の交付（有料）が主な業務であり、データには個人情報が多く含まれるため市職員以外での業務は不可能である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 （事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	
	<input type="checkbox"/> 公正・公平である	地図訂正・地積更正是、地籍図作成時の誤りであるため市が行わなければならぬ。また、座標成果値交付については交付手数料を受益者から徴収するため偏りはない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地籍調査時の誤りも年間には数件発見されるが、相続等で全てが訂正できるとは限らないので、よく現地確認や書類調査を行い解決していくたい。																
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																
□ 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 繼続 → □ 改革改善を行う → □ 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">コスト</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td><input checked="" type="radio"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td><input checked="" type="radio"/></td> </tr> </tbody> </table>		コスト			削減	維持	増加	成果	向上			維持	<input checked="" type="radio"/>		低下		<input checked="" type="radio"/>
コスト																	
	削減	維持	増加														
成果	向上																
	維持	<input checked="" type="radio"/>															
	低下		<input checked="" type="radio"/>														
(6) 事務事業優先度評価結果																	
成果優先度評価結果 (9)																	
コスト削減優先度評価結果 (6)																	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価	
A: 繼続（現状維持） B: 繼続（改革改善を行う）	C: 終了、廃止、休止 D: 2次評価へ提出
確認欄	